



近年増え続ける
異常気象による被害
一度貴社の架台を
診断してみませんか？



今が診断の
チャンス!!

産業用太陽光発電所向け 太陽光架台補強サービス 今なら無償簡易診断実施中

スタート
キャンペーン
実施中!



1. 架台設計図、強度計算書など書類上の簡易診断
2. 詳細診断による脆弱性レポート作成
3. 補強プランの策定
4. 補強材見積+工事費見積

ご要望に応じて、
基礎強度診断、評価も承ります。
下記までお問合せください。

今なら！
スタートアップキャンペーンにつき
簡易診断は無料。

そこで、事前に架台の補強を行い、
現在のJIS規格の強度レベルまで
引き上げること、強風や積雪など
による太陽光発電設備の破損、
モジュールの飛散、設備の倒壊など
のリスクを低減することができます。

特にJIS8955:2017以
前に設計された太陽光架台はJIS
8955:2017以降の設計と比
較して強度が低いため、倒壊や飛散
の被害を受けるリスクが高まります。
最近、更にガイドラインという形で
安全率1.5が推奨されています。
これは2017年以前のもものと比較
すると36m/sだったものが46m
/sにまであげられているというこ
とになります。

台風など、災害の激甚化に伴い、
建設時には想定していなかった荷重
が過大にかかり、近年被害が増大し
ています。万が一、モジュールの飛
散、架台の倒壊が起きると、修繕や
補修の必要があると同時に発電がス
トップされ、もちろん売電収入もな
くなります。

JIS2017前？！

